



生産終了予定商品

プログラマブルコントローラ CPUユニット



形C200HS-CPU01-C/-EC

形C200HS-CPU21-C/-EC

形C200HS-CPU33(-E)



推奨代替商品

SYSMAC

形C200HG-CPU43(-Z)、

形C200HG-CPU43(-Z)E

形C200HW-PA204S、-PD024

2003年3月末生産終了予定

推奨代替商品をご利用いただいた場合の注意点

- ・ C200HSのCPU装置をSYSMAC に変更するにはCPU、ベース、電源、メモリユニット、CPU取付タイプの周辺ツールの変更が必要です。
- ・ I/O増設装置はベース、電源、増設ケーブルをそのまま使用できます。
- ・ SYSMAC の増設ベースに切り替える際は、ベース、電源の変更が必要ですが、増設ケーブルはそのまま使用できます。

変更時の留意点

1. システム構成上の留意点

1-1 ユーザープログラムをROM化されている場合

SYSMAC のオートブート機能を使用してください。

C200HSのメモ리카ードROMは、そのままSYSMAC に使用できます。

EP-ROM書込みは、サポートソフト(パソコン)に汎用ROMライタを接続してご使用ください。

PROMライタユニット 形C500-PRW06は使用できません。

1-2 高機能ユニットをご使用の場合

基本的にC200HSと同様にお使いいただけます。

ただし、ラダープログラム上で、高機能ユニットの各種ビジーフラグ、完了フラグ等を使用しないで、タイミングだけでプログラミングされている場合には、性能UPIによって、アプリケーションが動作しなくなる可能性があります。

この場合SYSMAC CPUをサイクルタイム一定の設定とし、現状システムのC200HSのサイクルタイムと同じサイクルタイムで使用することで、問題を回避できます。

1-3 無電圧接点入力ユニット 形C200H-ID001/002を使用している場合

SYSMAC では、形C200H-ID001、-002は使用できません。

形C200H-ID212にDC24Vを外部供給にてご使用ください。

1-4 メモリユニット RAM(コンデンサタイプ)を使用されている場合

SYSMAC -CPUは、RAMをCPU本体に内蔵していますが、コンデンサバックアップの機能は持っていません。

従いまして、コンデンサバックアップによるバッテリーレス運転はできません。

バッテリーバックアップにて、運転してください。

1-5 取付時のご注意

SYSMAC シリーズは、C200HSシリーズと異なり、CPU部と電源部が分離され、独立したユニットとなっています。

1-6 ベース絶縁板に取り付けている場合

SYSMAC のCPUベース(形C200HW-BC)はそのままご使用いただけます。

SYSMAC の増設ベース(形C200HW-BI)はSYSMAC 増設ベース用の絶縁板に変更してください。

2. ハード上の留意点

2-1 電源ユニット置き換え対応形式一覧

下記の形式に置き換えることで、電源容量の互換性が保たれます。

	現行C200HS-CPU形式と電源形式	置き換え可能な シリーズ電源形式
1	形C200HS-CPU01/02/21/31 形C200H-PS221	AC電源タイプ
	・ DC24Vサービ電源、および運転中出力(RUN接点) を使用していない場合	形C200HW-PA204
	・ DC24Vサービ電源を使用している場合	形C200HW-PA204S *
	・ 運転中出力(RUN接点)を使用している場合	形C200HW-PA204R
	・ DC24Vサービ電源と運転中出力(RUN接点)を両 方使用している場合	SYSMAC シリーズでは、置き換え可能な電源があ りません。 形C200HW-PA204Rを使用して、別途、DC24V電 源をご用意いただくか、形C200HW-PA204S を使用して、RUN接点の代わりにI/O出力を ご使用いただきますようお願いいたします。
2	形C200HS-CPU03/23/33 形C200H-PS211	DC電源タイプ ・ 形C200HW-PD024 (RUN接点をご使用の場合は、RUN接点の代 わりにI/O出力をご使用いただきますよう、 お願いいたします。

2-2 ベースユニット置き換え対応形式一覧

CPUが設置されているベース

SYSMAC シリーズをご使用の場合には、下記のベースユニットに交換する必要があります。

	現行C200Hベースユニット形式	SYSMAC 用ベースユニット形式
1	形C200H-BC031-	形C200HW-BC031
2	形C200H-BC051-	形C200HW-BC051
3	形C200H-BC081-	形C200HW-BC081
4	形C200H-BC101-	形C200HW-BC101

*取付寸法は同一です。

増設ベース

C200Hのベースがそのまま使用できます。

SYSMAC シリーズの増設ベースに切り替えの場合下記の変更が必要になります。

	現行C200Hベースユニット形式	SYSMAC 用ベースユニット形式
1	形C200H-BC031-	形C200HW-BI031
2	形C200H-BC051-	形C200HW-BI051
3	形C200H-BC081-	形C200HW-BI081
4	形C200H-BC101-	形C200HW-BI101

*取付寸法が異なります。

2-3 メモリカセット置き換え対応形式一覧

C200HSでご使用のメモリカセットは、SYSMAC でもそのままご使用いただけます。

あらたに 用のメモリカセットを手配する場合は、対応品は以下の形式となります。

	現行C200HSメモリカセット形式	SYSMAC 用メモリカセット形式
1	EEP-ROMタイプメモリユニット ・ 形C200HS-ME16K	EEP-ROMタイプメモリカセット ・ 形C200HW-ME K *
2	EP-ROMタイプメモリユニット ・ 形C200HS-MP16K	EP-ROMタイプメモリカセット ・ 形C200HS-MP16K *

*メモリカセット内にバックアップしたユーザプログラムを、電源立上げ時にCPU内蔵のユーザメモリにオートブ
ートさせてご使用ください。

3. ソフト上の留意点

3-1 ユーザプログラムの留意点

サイクルタイムがSYSMAC に変更することで速くなります。

サイクルタイムに依存するタイミングのあるプログラムを作成する場合は、プログラムの再確認を実施してください。

生産終了商品と推奨代替商品

生産終了予定商品	推奨代替商品	標準価格(¥)
形C200HS-CPU01-C 形C200HS-CPU01-EC 形C200HS-CPU21-C 形C200HS-CPU21-EC 形C200HS-CPU33 形C200HS-CPU33-E	形C200HG-CPU43	120,000
	形C200HG-CPU43-E	120,000
	形C200HG-CPU43-Z	120,000
	形C200HG-CPU43-ZE	120,000
	形C200HW-PA204S	25,000
	形C200HW-PD024	30,000
	UM/DMの使用量が少ない場合 形C200HE-CPU11	60,000
	形C200HE-CPU32	80,000
	形C200HE-CPU42	100,000

* 形C200H -CPU -Zに変更する場合は、サポートソフトはCPTまたはCX-Programmerをご使用ください。
形C200HE-CPU11/32のペリフェラルポートに形CQM1-CIF01(PC98用)/形CQM1-CIF02(DOS/V用)を接続して
使用することも可能です。